

南陽市商工会

経営発達支援計画

# 経済動向調査

報告書【概要版】

2017年10-12月期

2018年1月

 株式会社 東京商互リサーチ

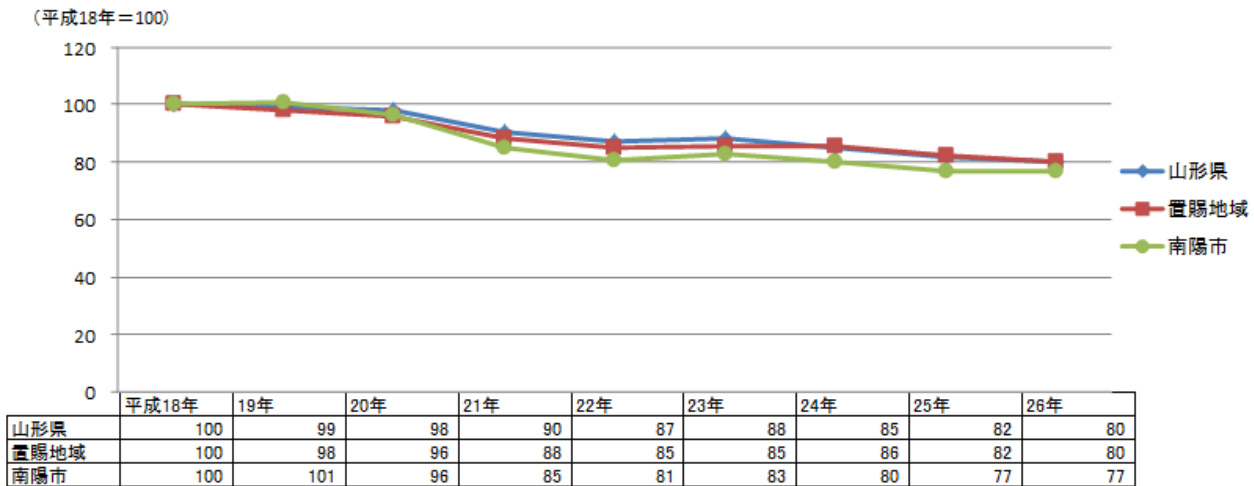
# 1. 生産動向調査

## ■事業所数推移（平成18～26年、従業員4人以上の事業所）

南陽市の平成26年の事業所数は107事業所で、平成18年を100とした指数で見ると、平成21年から山形県や置賜地域を下回る水準で推移している。

(単位:事業所)

	平成18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
山形県	3,283	3,246	3,219	2,970	2,867	2,896	2,797	2,682	2,634
置賜地域	885	866	846	780	754	756	757	728	709
南陽市	139	140	134	118	112	115	111	107	107



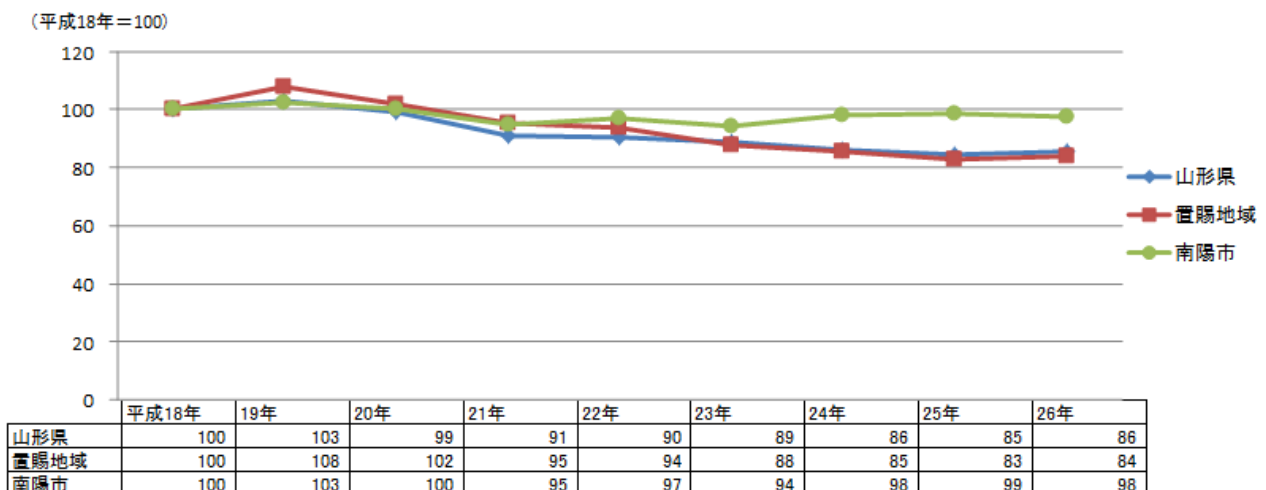
出典：山形県統計企画課「工業統計調査結果報告書」

## ■従業者数推移（平成18～26年、従業員4人以上の事業所）

南陽市の平成26年の従業者数は2,975人で、平成18年を100とした指数で見ると、平成21年から減少傾向が続いているが、山形県や置賜地域の水準を上回っている。

(単位:人)

	平成18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
山形県	114,949	118,382	114,100	104,805	103,642	102,257	99,063	97,320	98,434
置賜地域	31,117	33,480	31,766	29,617	29,163	27,307	26,526	25,823	26,058
南陽市	3,050	3,129	3,049	2,895	2,959	2,880	2,990	3,009	2,975



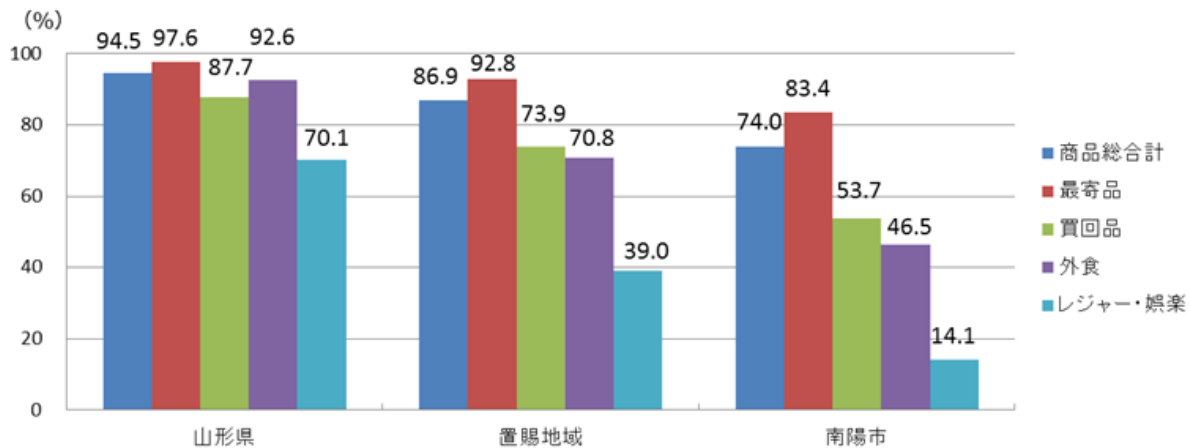
出典：山形県統計企画課「工業統計調査結果報告書」

## 2. 消費動向調査

### ■ 購買依存率（項目別）

置賜地域の購買依存率は、山形県と比べ、全項目で割合が低い。90%を超えている項目は、最寄品の92.8%のみであり、一方、レジャー・娯楽は39.0%と極端に低く、商品総合計を押し下げている。

南陽市の購買依存率は、全ての項目で山形県や置賜地域の購買依存率を下回っているが、最も高い最寄品でも83.4%と、80%を超えた。一方で、レジャー・娯楽は14.1%と10%を下回る水準にあり、特にレジャー・娯楽の購買依存率の低さが表れている。

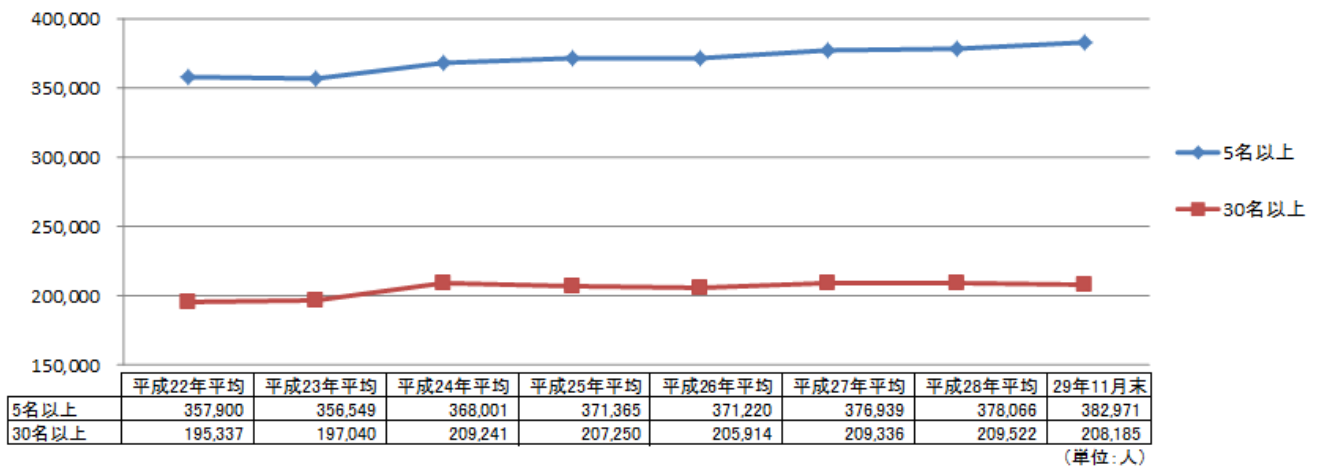


出典：山形県商工労働観光部「平成27年度山形県買い物動向調査報告書」

## 3. 雇用動向調査

### ■ 県内常用従業者数推移（平成22～29年）

山形県の平成29年11月末現在の従業員規模5名以上の企業の常用従業員総数は382,971人で、平成26年以降増加基調で推移している。従業員規模30名以上の企業では208,185人で平成26年から平成28年は増加基調で推移しているが、平成28年から平成29年11月にかけて1,337人減少している。

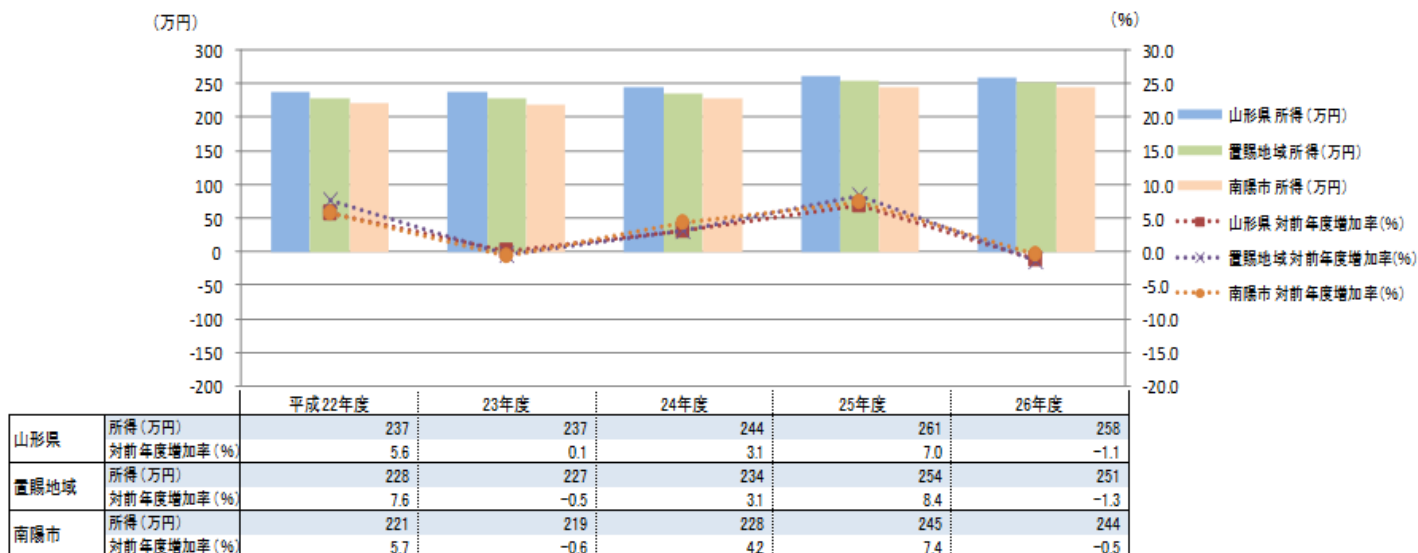


出典：山形県統計企画課「毎月勤労統計調査地方調査結果」

## 4. 所得動向調査

### ■ 1人当たり市町村民所得推移

1人当たり市町村民所得は、山形県、置賜地域、南陽市いずれも平成22年度から概ね微増傾向となっている。南陽市の1人当たり市町村民所得は、平成25年度に前年度比7.4%増と大幅に増加したが、平成26年度は、前年度比0.5%減の244万円となった。

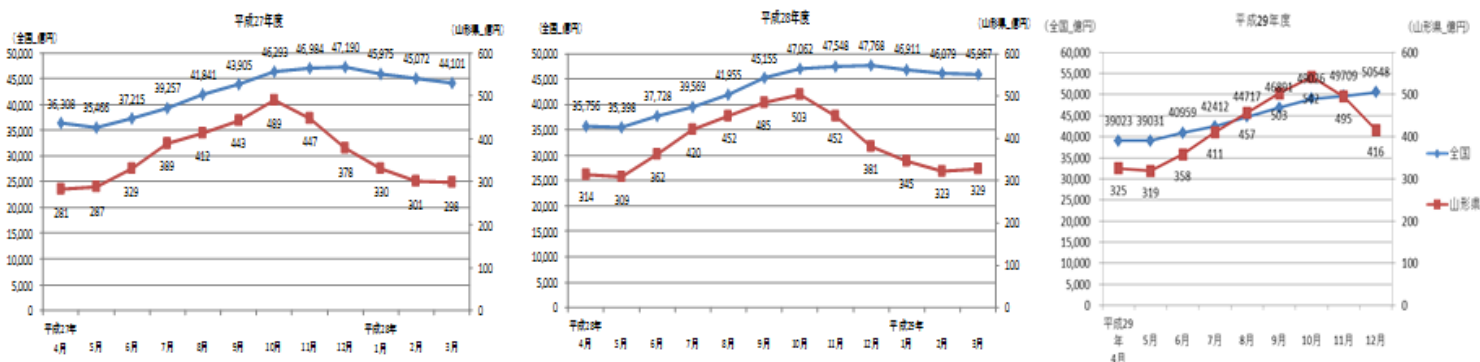


出典：山形県統計企画課「市町村民経済計算」

## 5. 建設投資動向調査

### ■ 建設投資動向（出来高ベース）

平成27年度と比較した山形県内の平成28年度の建設投資動向（総計・出来高ベース）は、いずれの月も前年度同月を上回るペースで推移しており、平成28年度通算では前年度比6.6%増の4,675億円となった。平成29年度は5月以降、10月をピークに増加したが、以降は減少した。

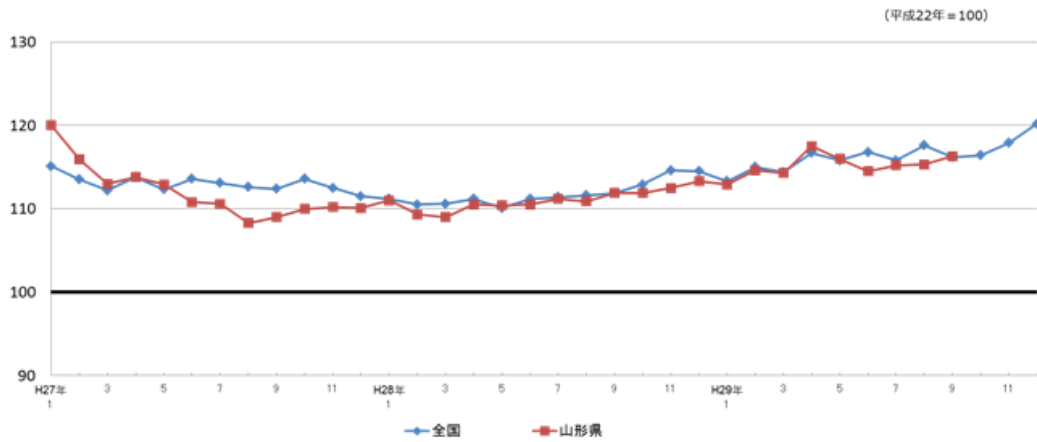


出典：国土交通省「建設総合統計」

# 6. 県内経済動向調査

## ■ 県内CI値（一致指数）の推移

平成29年9月の山形県のCI値は116.3と前月比マイナス1.0ポイント、前年同月比プラス4.4ポイントとなっている。また、全国の値と比較すると0.1ポイント上回っている。



CI		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成27年	全国	115.1	113.5	112.2	113.8	112.3	113.6	113.1	112.6	112.4	113.6	112.5	111.5
	山形県	120.0	115.9	113.0	113.8	112.9	110.8	110.6	108.3	109.0	110.0	110.2	110.1
平成28年	全国	111.2	110.5	110.6	111.2	110.1	111.2	111.4	111.6	111.9	112.9	114.6	114.5
	山形県	111.0	109.3	109.0	110.5	110.4	110.5	111.2	110.9	111.9	111.9	112.5	113.3
平成29年	全国	113.3	115.0	114.4	116.7	115.8	116.8	115.8	117.6	116.2	116.4	117.9	120.2
	山形県	112.9	114.6	114.3	117.5	116.0	114.5	115.2	116.3	116.3	116.3	116.3	116.3

CI値とは・・・景気に敏感な指標の動的な動きを合成した指標であり、主として景気変動の大きさやテンポ（量感）を測定することを目的とする。一般的に、CI一致指数が上昇している時は景気の拡張局面、低下しているときは後退局面であり、一致指数の山、谷の近傍に景気の山、谷が存在すると考えられる。変化の大きさが景気の拡大または後退の大きさやテンポ（量感）を表しており、その時々々の景気の量感を観察することができる。

出典：山形県統計企画課「経済動向月例報告」 内閣府「景気動向指数」

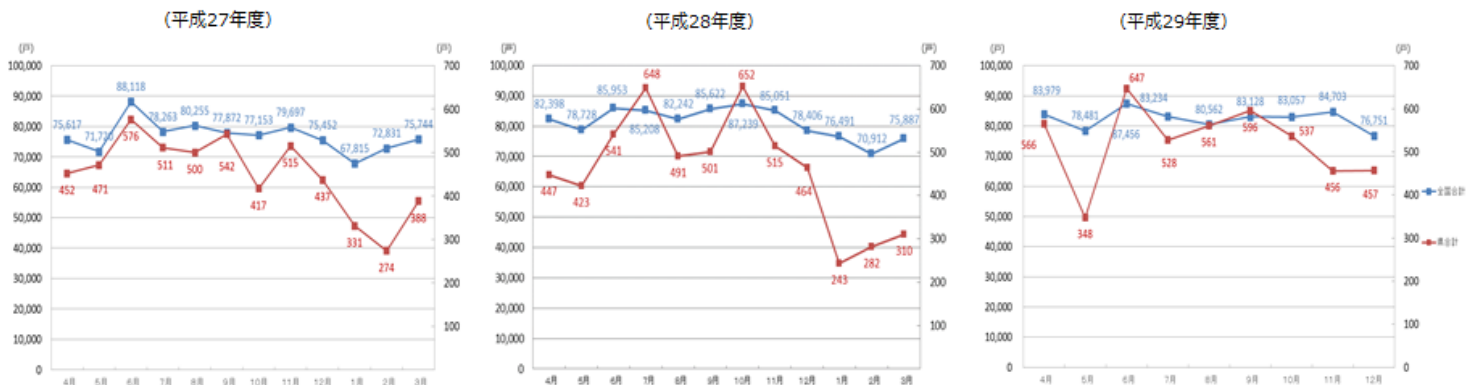
# 7. 住宅建設動向調査

## ■ 全国及び県内の新設住宅着工数

平成27年度の県内の着工戸数において、上半期は400戸台後半から500戸台で安定していたが、下半期は減少しており、特に1～3月は400戸を下回っている。

平成28年度は、上半期は前年並に推移し、特に7月は前年度を大きく上回ったが、下半期の1～3月は300戸前後と減少した。

平成29年度は、5月、7月に減少、8月、9月は回復、その後は低位で推移した。



出典：山形県県土整備部建築住宅課「山形県新設住宅着工統計」

## ■ 南陽市の新設住宅着工数

平成27年度は年間146戸で、最も多い7月でも29戸である。

平成28年度は232戸で、前年から86戸増加した。

平成29年度については、12月までの累計で140戸であり、前年同月の185戸よりも45戸減少している。



出典：山形県国土整備部建築住宅課「山形県新設住宅着工統計」

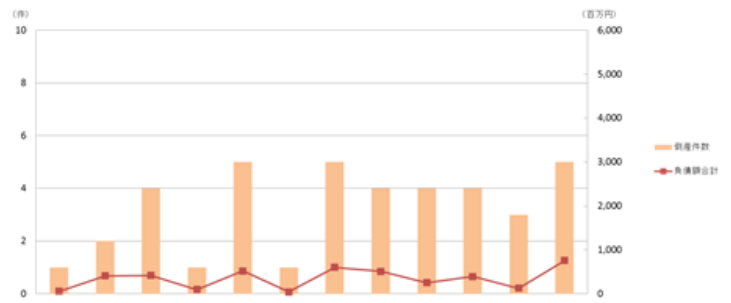
## 8. 企業倒産動向調査

### ■ 2017年

全国では、毎月の倒産件数がおおむね600件～800件の範囲で推移している。負債額合計は6月に大型倒産が発生したために、突出している。また年末の12月には若干の増加を見せた。

山形県内では、件数に関しては5月、7月が各5件で最も多く発生した。負債額合計も件数と同様に5月と7月が最大となっている。

南陽市内の倒産は、10月に1件、負債額合計は8,000万円であった。



出典：(株)東京商工リサーチ



出典：(株)東京商工リサーチ

# 9. 国勢調査

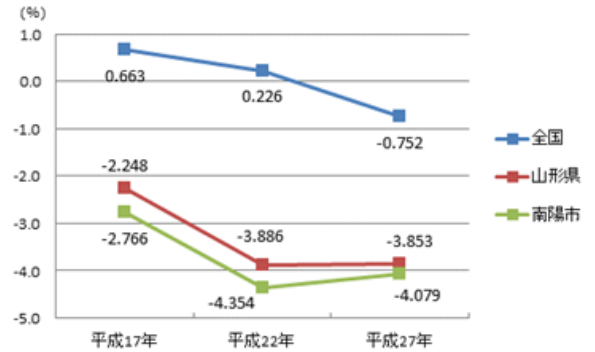
## ■人口

日本の総人口について、平成17年および平成22年は増加していたが、平成27年に0.752%減少している。

山形県については、過去3回の調査で減少が続いており、減少幅は平成17年が- 2.248%、平成22年が- 3.886%、平成27年が- 3.853%となっている。

南陽市も山形県と同じく、減少が続いており、減少幅は山形県のそれと比べて大きい。しなしながら、平成27年はやや減少幅が縮小した。

		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
全国	人口(人)	126,925,843	127,767,994	128,057,352	127,094,745
	増減率(%)	---	0.663	0.226	-0.752
山形県	人口(人)	1,244,147	1,216,181	1,168,924	1,123,891
	増減率(%)	---	-2.248	-3.886	-3.853
南陽市	男性人口(人)	36,191	35,190	33,658	32,285
	増減率(%)	---	-2.766	-4.354	-4.079



出典：総務省統計局「平成12年国勢調査」、「平成17年国勢調査」、「平成22年国勢調査」、「平成27年国勢調査」

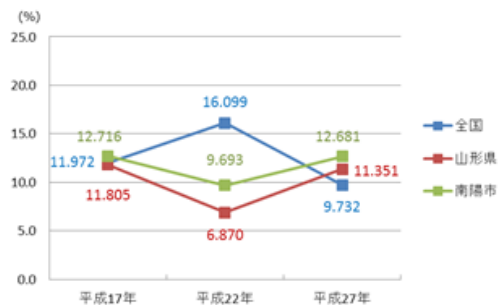
## ■単独世帯および65歳以上の高齢者単身世帯

全国、山形県、南陽市のいずれにおいても、単独世帯および60歳以上の高齢者単身世帯の世帯数は、過去3回の調査を通して増加している。

単独世帯について、南陽市における平成27年の増加率は12.681%となり、同年における南陽市の65歳以上の高齢者単身世帯は15.145%であった。

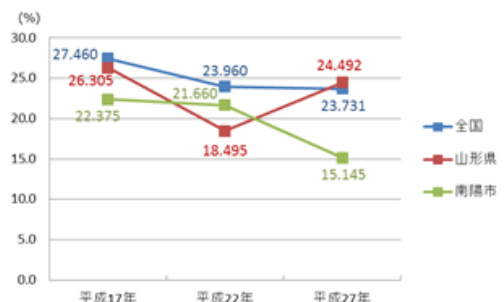
### <単独世帯>

		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
全国	世帯数(世帯)	12,911,318	14,457,083	16,784,507	18,417,922
	増減率(%)	---	11.972	16.099	9.732
山形県	世帯数(世帯)	75,169	84,043	89,817	100,012
	増減率(%)	---	11.805	6.870	11.351
南陽市	男性人口(人)	1,620	1,826	2,003	2,257
	増減率(%)	---	12.716	9.693	12.681



### <65歳以上の高齢者単身世帯>

		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
全国	世帯数(世帯)	3,032,140	3,864,778	4,790,768	5,927,686
	増減率(%)	---	27.460	23.960	23.731
山形県	世帯数(世帯)	19,833	25,050	29,683	36,953
	増減率(%)	---	26.305	18.495	24.492
南陽市	男性人口(人)	581	711	865	996
	増減率(%)	---	22.375	21.660	15.145

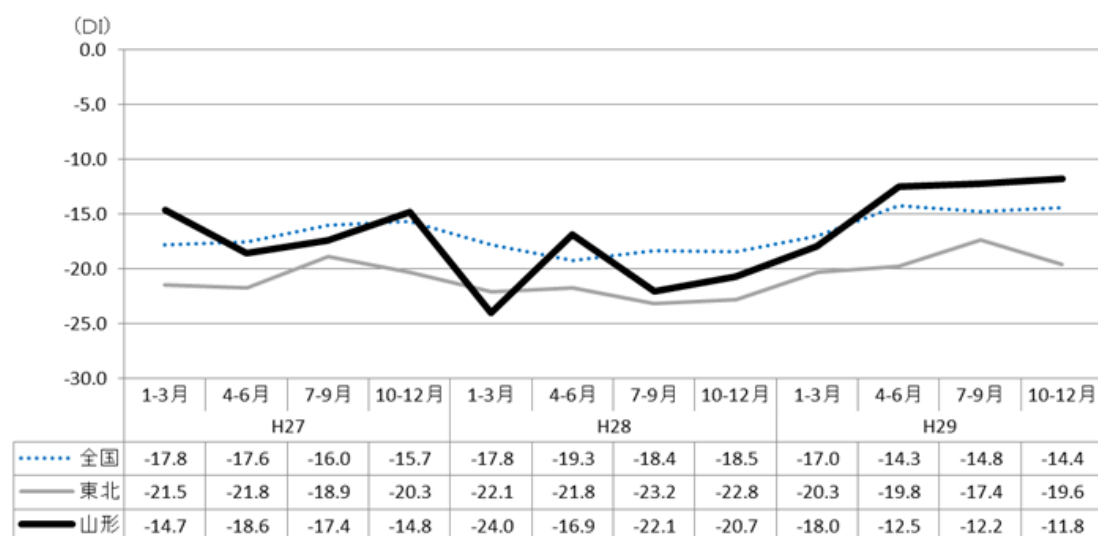


出典：総務省統計局「平成12年国勢調査」、「平成17年国勢調査」、「平成22年国勢調査」、「平成27年国勢調査」

# 10. 中小企業景況調査

## ■ 中小企業景況調査（業況DI 全国・地域比較）

山形県内の業況DIは平成28年7～9月期を境に上昇を継続している。直近期である平成29年10～12月期は全国よりも2.6ポイント高い他、東北よりも7.8ポイント高くなっている。



※季節変動調整値を採用

出典：中小企業景況調査（独立行政法人中小企業基盤整備機構）  
<http://www.shokokai-yamagata.or.jp/kaiho/>

## ■ 主要産業別にみた今期（平成29年7～9月期）の景況

県内統一景況調査報告から業種別の各種DIをみると、建設業及びサービス業が他の業種よりも高い。建設業は未だ相対的には高い値であるが、唯一、前期差がマイナスとなった。製造業では全値が前期同数であった他、小売業やサービス業は全ての値が回復を示した。

	売上額		資金繰り		採算		業況	
	DI	前期差	DI	前期差	DI	前期差	DI	前期差
製造業	-27.0	0.0	-20.0	0.0	-25.7	0.0	-24.3	0.0
建設業	-7.1	-5.3	-8.9	-3.6	-17.9	-5.6	-10.7	-5.4
小売業	-21.5	14.0	-21.3	6.7	-20.2	12.4	-26.9	11.8
サービス業	-10.2	14.8	-10.3	7.3	-17.3	11.0	-7.9	14.3
全産業	-10.7	11.6	-14.1	3.6	-15.8	8.9	-14.4	8.2

出典：会報 やまがた商工連（山形県商工会連合会）  
<http://www.shokokai-yamagata.or.jp/kaiho/>